好評販売中！

『三菱もうひとつの素顔』

長崎のお土産として、ご購入ください

注目の「龍馬伝」で三菱の創始者
岩崎弥太郎の実像にもせまる
「長崎歴史書」としても評判です

税込一五〇〇円

2008年1月、会社が出版した「三菱長崎造船所150年史」に対応し、働く者の立場で集めた資料は、50年を超えて秘匿されていたものなど、文献・記録・証言は300点を超え、史実にもとづいて仕上げたものです。

原水爆禁止世界大会で発言する、渡辺千恵子さん

「三菱もうひとつの素顔」
６９ページ　写　真

原爆「標的」になぜ長崎が

米軍の原爆投下「目標検討委員会」では、「日本最大の三菱長崎造船所ならびに修理施設があり、三菱兵器の海軍兵器（魚雷）の生産も重要な位置をしめている」ことが論議された。長崎兵器製作所（大橋・茂里町工場）は、ハワイ真珠湾奇襲に使用された「九一式航空魚雷」を専門で製作する民間では唯一の工場で、機械設備も3,435台を整備した最新鋭工場であった。『三菱もうひとつの素顔』24 ページ

西日本新聞などが出版を紹介

臨時工（非正規）制度を撤廃させたたかい

「昨年会社側が刊行した『長崎造船所150年史』に触れられていない組合闘争やじん肺訴訟などについて詳述している」「戦前は戦艦『武蔵』などを造り、戦後はイージス護衛艦など自衛隊艦船の建造を受注している同造船所の兵器製造拠点としての側面に触れているほか、3ヶ月ごとの短期契約だった臨時工制度を撤廃させた組合闘争、下請け労働者への賠償も認められたじん肺訴訟などに紙幅を割いた」と内容を紹介し、日本共産党の中田晋介元県議の「150年史は『栄光の歴史』で飾られているが、働いた人の気持ち、内部でどんなことが起きているのかを知ってもらいたい」と談話を掲載。
（2009年12月18日）

日本共産党三菱長崎造船所委員会
電話 095-849-6481　FAX 095-847-2199
2010年8月